

令和4年度 第150回 奈良市清掃業務審議会 会議録概要版

開催日時	令和4年6月23日(木) 15時00分から16時00分まで		
開催場所	奈良市環境清美工場 管理棟2階 見学者ホール		
出席者	委員	原田会長、河野委員、作間委員、清水委員、中井委員、中岡委員、徳野委員、福岡委員、峯川委員、吉田委員、和田委員【計11人出席】	
	事務局	矢倉部長、山口次長、前田参事、鈴木参事(環境清美工場長事務取扱) 廃棄物対策課：山森課長、市川課長補佐、川本係長、平本、橋本、森、上田 リサイクル推進課：村田課長 収集課：山田課長 まち美化推進課：上村課長 環境政策課：穴尾課長 クリーンセンター建設推進課：稲場課長	
担当課	環境部 廃棄物対策課		
開催形態	公開(傍聴人0名)		
	一部非公開	(非公開の理由)	奈良市情報公開条例第7条第3号
		非公開の具体的な理由等 審議事項1については、公にすることにより申請業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する情報が含まれる事項について審議するため。	
議題 又は 案件	・報告事項1 令和3年度の奈良市のごみ量について ・審議事項1 奈良市一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可申請について ・審議事項2 その他		
決定又は 取りまとめ事項	1 令和3年度の奈良市のごみ量について報告。 2 奈良市一般廃棄物処理業等の許可申請等について全件承認。		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
1. 報告事項1 令和3年度の奈良市のごみ量について 事務局より、昨年度のごみ及び再生資源の搬入量について報告した。当該事項報告の際、家庭系ごみ搬入量の増減に関して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、一部の家庭系ごみや再生資源が増加傾向であった。また、事業系ごみ搬入量に関しては、一つの要因としてウィズコロナでの社会活動・事業活動が定着してきているため、増加傾向にあることを説明。  (委員からの意見等) ・環境清美センターの資源回収場に新聞、雑誌、ダンボールの搬入量が、減少している理由は、地域で集団資源回収に取り組むよう促している影響もあるのではないか。 ・自治連合でも雑がみの回収について呼びかけており、自治会単位等の地域で集積し、民間業者へ引き渡している影響もあるのではないか。 ・古布類が大幅に搬入量増加している要因は何か。 →新型コロナウイルス感染症の影響により一時期は、輸出制限があり、受け入れ停止されていたが、一部再開の目途が立ち工場への受け入れも同時に再開になった。それに伴い家庭に溜めてあった衣類等の搬出がなされた影響と思われる。			

## 2. 審議事項1 奈良市一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可申請等について

事務局から、今年度申請のあった業者(収集運搬業(一般) 9 業者、収集運搬業(限定) 6 業者、収集運搬業(浄化槽汚泥) /浄化槽清掃業 1 業者、処分業者 2 業者 合計 18 業者)において、すべて許可条件を満たしている旨を事務局から説明し、今年度の許可申請について全件承認された。

(委員からの意見等)

- ・プラスチック資源循環法施行により、市のプラスチックごみの取り扱いを変更する場合に、許可業者に対して許可条件等の内容変更はどうか。

→分別区分の変更があった場合には、変更内容を周知徹底して、市の取り扱いに沿って収集運搬するよう指導する。

- ・奈良市の許可業者に対する展開検査の実施状況の発信方法について、再検討してほしい。